

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月13日

上場会社名 愛知電機株式会社
 コード番号 6623 URL <http://www.aichidenki.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 山田 功
 (氏名) 小林 和郎
 配当支払開始予定日

上場取引所 名
 TEL 0568-31-1111
 平成20年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	30,936	—	557	—	719	—	121	—
20年3月期第2四半期	30,061	13.7	853	△18.3	1,007	△22.2	803	△22.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	2.52	—
20年3月期第2四半期	16.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
21年3月期第2四半期	65,752	—	28,540	—	42.9	586.11		
20年3月期	70,892	—	28,738	—	40.0	589.25		

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 28,211百万円 20年3月期 28,365百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	2.50	—	3.00	5.50
21年3月期	—	3.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,500	△3.7	1,200	△37.5	1,500	△33.7	600	△61.1	12.47

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 有
- 〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	48,252,061株	20年3月期	48,252,061株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	118,833株	20年3月期	113,611株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	48,135,967株	20年3月期第2四半期	48,142,934株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定を前提としているため、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	27,000	0.1	750	48.2	1,050	34.8	500	5.0	10.38

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定を前提としているため、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油をはじめとする資源価格の高騰やサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安の拡大などの影響を受け、企業収益が減少し、民間設備投資が鈍化するなど、景気の後退懸念が一層高まる状況で推移しました。

このような状況のもと、当グループのセグメント別売上高は以下の通りとなりました。

電力機器部門につきましては、主要顧客である電力会社の設備投資が堅調に推移し、中大形変圧器の伸びに加え、制御機器や小形変圧器が増加したことから、売上高は 121 億 1 千 7 百万円となり、前年同様に比べ 11.6%の増加となりました。

回転機部門につきましては、介護用機器や海外子会社の小形モータが増加しましたが、国内向け小形モータやプリント配線板が減少したことから、売上高は 188 億 1 千 8 百万円となり、前年同様に比べ 2.0%の減少となりました。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間の売上高につきましては、309 億 3 千 6 百万円となり、前年同様に比べ 2.9%の増加となりました。

利益面につきましては、生産性の向上や諸経費の削減など原価低減に努めてまいりましたが、主要原材料価格の高騰や減価償却費の増加などの影響により、営業利益は 5 億 5 千 7 百万円と前年同様に比べ 34.7%の減少、経常利益は 7 億 1 千 9 百万円と前年同様に比べ 28.6%の減少となりました。また、四半期純利益は、棚卸資産の評価に関する会計基準の適用に伴い棚卸資産評価損を特別損失に計上したため、1 億 2 千 1 百万円と前年同様に比べ 84.9%の減少となりました。

※前年同期増減率は、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第 2 四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ 51 億 4 千万円減少し、657 億 5 千 2 百万円となりました。

流動資産は、392 億 7 千 3 百万円と前連結会計年度末と比べ 45 億 2 千万円減少しました。これは主に、現金及び預金が 9 億 7 千万円、受取手形及び売掛金が 33 億 2 千 5 百万円減少したことによります。固定資産は、264 億 7 千 8 百万円と前連結会計年度末と比べ 6 億 1 千 9 百万円減少しました。これは主に、有形固定資産が 4 億 5 千 3 百万円、投資その他の資産が 1 億 7 千 7 百万円減少したことによります。

流動負債は、230 億 7 千 3 百万円と前連結会計年度末と比べ 27 億 9 千 3 百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が 32 億 7 千 1 百万円減少したことによります。固定負債は、141 億 3 千 8 百万円と前連結会計年度末と比べ 21 億 4 千 8 百万円減少しました。これは主に、長期借入金が 17 億 6 千 1 百万円減少したことによります。

純資産は、285 億 4 千万円と前連結会計年度末と比べ 1 億 9 千 8 百万円減少しました。自己資本比率は、前連結会計年度末と比べ 2.9 ポイント増加し、42.9%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結累計期間末における連結ベースでの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ 11 億 1 千万円減少し、99 億 5 千 3 百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第 2 四半期連結累計期間における営業活動によって得られた資金は、9 億 7 千 2 百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少額 34 億 5 千 5 百万円などの資金の減少に対し、税金等調整前四半期純利益 3 億 9 千 7 百万円、売上債権の減少額 34 億 1 千 9 百万円などの資金の増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第 2 四半期連結累計期間における投資活動によって使用した資金は、12 億 9 千 7 百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得に 10 億 8 千 3 百万円支出したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第 2 四半期連結累計期間における財務活動によって使用した資金は、7 億 8 千 5 百万円となりました。これは主に、有利子負債の減少額 6 億 3 千 7 百万円、配当金の支払 1 億 4 千 4 百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、世界規模での金融危機が円高や株安へ波及するなど、景気後退懸念が実体経済にも影響しはじめており、景気はさらに厳しさを増すものと予想されます。

当グループを取り巻く経営環境につきましては、電力機器部門においては、主要顧客である電力会社の設備投資が安定的に推移すると見込まれますが、回転機器部門では、国内外の市場で不透明感が増していることから、厳しい状況が続くと予想されます。

このような状況から、現時点での通期の連結業績は、平成 20 年 5 月 15 日の決算発表時の予想から変更し、売上高 615 億円（前回発表 620 億円）、営業利益 12 億円（同 14 億円）、経常利益 15 億円（同 15 億円）、当期純利益 6 億円（同 10 億円）を予想しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 第 1 四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第 9 号）を適用し、評価基準については、取得原価をもって貸借対照表価額とする原価法から、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法による原価法に変更しております。

なお、この変更に伴い、当第 2 四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ 10 百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は 282 百万円減少しております。

③ 第 1 四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第 18 号）を適用しております。

なお、これに伴う損益に与える影響はありません。

④ 第 1 四半期連結会計期間より「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第 13 号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 16 号）を早期適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

なお、これに伴う当第 2 四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

① 第 1 四半期連結会計期間より法人税法の改正に伴い、機械及び装置の耐用年数の見直しを行い、一部の資産について耐用年数を変更しております。

なお、この変更に伴い、当第 2 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ 87 百万円減少しております。

② 当社の役員退職慰労引当金については、従来、役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額の 100%を計上しておりましたが、平成 20 年 6 月 27 日開催の定時株主総会終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止しております。

同制度廃止に伴い、在任期間に応じた役員退職慰労金の打ち切り支給を同株主総会で決議し、役員退職慰労引当金残高を、固定負債の「その他」に計上しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,218	11,188
受取手形及び売掛金	16,491	19,816
有価証券	1,185	1,184
商品	429	462
製品	3,280	3,623
原材料	3,798	3,758
仕掛品	3,154	2,716
貯蔵品	297	295
繰延税金資産	214	90
その他	205	664
貸倒引当金	△ 1	△ 5
流動資産合計	39,273	43,794
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,089	8,231
機械装置及び運搬具(純額)	4,251	4,558
工具・器具及び備品(純額)	751	756
土地	4,245	4,245
建設仮勘定	513	520
その他(純額)	4	—
有形固定資産合計	17,857	18,310
無形固定資産	123	111
投資その他の資産		
投資有価証券	5,215	5,308
繰延税金資産	2,319	2,381
その他	1,082	1,103
貸倒引当金	△ 119	△ 117
投資その他の資産合計	8,498	8,675
固定資産合計	26,478	27,098
資産合計	65,752	70,892

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,972	17,243
短期借入金	2,607	2,398
1年内返済予定の長期借入金	3,403	2,364
1年内償還予定の社債	250	250
未払費用	1,575	1,852
未払法人税等	284	420
その他	979	1,337
流動負債合計	23,073	25,867
固定負債		
社債	125	250
長期借入金	6,042	7,803
繰延税金負債	99	104
退職給付引当金	7,064	7,374
役員退職慰労引当金	274	524
負ののれん	106	105
その他	426	124
固定負債合計	14,138	16,287
負債合計	37,212	42,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,053	4,053
資本剰余金	2,199	2,199
利益剰余金	20,996	21,019
自己株式	△ 24	△ 23
株主資本合計	27,224	27,248
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	894	1,014
為替換算調整勘定	92	101
評価・換算差額等合計	986	1,116
少数株主持分	328	373
純資産合計	28,540	28,738
負債純資産合計	65,752	70,892

(2) 四半期連結損益計算書
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)
売上高	30,936
売上原価	27,660
売上総利益	3,275
販売費及び一般管理費	2,718
営業利益	557
営業外収益	
受取利息	25
受取配当金	41
持分法による投資利益	116
負ののれん償却額	14
屑消耗品売却額	95
その他	65
営業外収益合計	359
営業外費用	
支払利息	117
為替差損	2
その他	77
営業外費用合計	197
経常利益	719
特別利益	
投資有価証券売却益	6
貸倒引当金戻入額	2
その他	0
特別利益合計	9
特別損失	
固定資産除却損	14
たな卸資産評価損	271
その他	44
特別損失合計	331
税金等調整前四半期純利益	397
法人税、住民税及び事業税	281
法人税等調整額	12
法人税等合計	294
少数株主損失 (△)	△ 19
四半期純利益	121

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	397
減価償却費	1,248
負ののれん償却額	△ 14
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 2
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△ 309
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△ 249
投資有価証券評価損益 (△は益)	27
ゴルフ会員権評価損	16
受取利息及び受取配当金	△ 67
支払利息	117
持分法による投資損益 (△は益)	△ 116
固定資産除却損	14
投資有価証券売却損益 (△は益)	△ 6
売上債権の増減額 (△は増加)	3,419
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 108
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 3,455
その他	533
小計	1,443
利息及び配当金の受取額	66
持分法適用会社からの配当金の受取額	10
利息の支払額	△ 126
法人税等の支払額	△ 420
営業活動によるキャッシュ・フロー	972
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額 (△は増加)	△ 140
有形固定資産の取得による支出	△ 1,083
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産取得による支出	△ 18
投資有価証券の取得による支出	△ 58
投資有価証券の売却による収入	15
その他	△ 14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,297
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	209
長期借入金の返済による支出	△ 722
社債の償還による支出	△ 125
配当金の支払額	△ 144
少数株主への配当金の支払額	△ 1
その他	△ 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 785
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 1,110
現金及び現金同等物の期首残高	11,063
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,953

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	電力機器	回 転 機	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	12,117	18,818	30,936	—	30,936
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	12,117	18,818	30,936	(—)	30,936
営業利益又は営業損失 (△)	1,313	△89	1,223	(666)	557

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な製品

事業区分	主 な 製 品 名	
電力機器	変 圧 器	負荷時タップ切替変圧器, 小形・中形・大形変圧器, モールド変圧器, 自動電圧調整器, 地上設置変圧器, 特殊用途変圧器, リアクトル, 中性点接地抵抗器 等
	制 御 装 置 ・ シ ス テ ム 機 器	配電塔, 光ネットワークユニット, キュービクル, デジタル式保護制御装置, 遠方監視制御装置, 情報伝送装置, 侵入監視装置, 配電線自動化システム, 大型直流電源装置, PCB無害化処理装置 等
	工 事	電力設備工事 等
回 転 機	小形モータ, ハーメティックモータ, 医療機器, シャッター開閉機, ディスポーザ, アクチエータ, 駆動制御装置, ソレノイド, 畜舎用送風機, 電動ポンプ, 排水処理装置, 粉体混合機・乾燥機, パワーコンディショナ, プリント配線板, 非接触給電装置 等	

【所在地別セグメント情報】

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)

海外売上高が連結売上高の 10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考資料】

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) 前中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日
I 売上高	30,061
II 売上原価	26,613
売上総利益	3,448
III 販売費及び一般管理費	2,594
営業利益	853
IV 営業外収益	(353)
受取利息	27
受取配当金	45
持分法による投資利益	52
負ののれん償却額	92
その他	135
V 営業外費用	(199)
支払利息	148
その他	50
経常利益	1,007
VI 特別利益	(175)
固定資産売却益	101
投資有価証券売却益	20
貸倒引当金戻入額	52
VII 特別損失	(35)
固定資産除却・売却損	22
投資有価証券評価損	11
その他	0
税金等調整前中間純利益	1,148
法人税、住民税及び事業税	224
法人税等調整額	101
少数株主利益	19
中間純利益	803

(2) 前中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間	
	〔 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日 〕	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益		1,148
減価償却費		750
負ののれん償却額		△ 92
貸倒引当金の減少額		△ 52
退職給付引当金等の減少額		△ 41
投資有価証券評価損		11
受取利息及び受取配当金		△ 72
支払利息		148
持分法による投資利益		△ 52
固定資産売却益		△ 101
固定資産除却・売却損		22
投資有価証券売却益		△ 20
売上債権の減少額		2,893
棚卸資産の増加額		△ 345
仕入債務の増加額		535
その他		△ 435
小 計		4,293
利息及び配当金の受取額		71
持分法適用会社からの配当金の受取額		8
利息の支払額		△ 146
法人税等の支払額		△ 238
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,988
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出		△ 99
有形固定資産の取得による支出		△ 3,239
有形固定資産の売却による収入		277
投資有価証券の取得による支出		△ 24
投資有価証券の売却による収入		35
その他		36
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 3,014
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の減少額		△ 134
長期借入れによる収入		1,800
長期借入金の返済による支出		△ 4,023
社債の償還による支出		△ 125
配当金の支払額		△ 216
その他		△ 9
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,708
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		37
V 現金及び現金同等物の増減額		△ 1,696
VI 現金及び現金同等物の期首残高		14,272
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高		12,575

(3)セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	電力機器	回 転 機	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,861	19,200	30,061	—	30,061
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	10,861	19,200	30,061	(—)	30,061
営 業 費 用	9,934	18,624	28,558	648	29,207
営 業 利 益	926	576	1,502	(648)	853

(注) 1. 事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

事業区分	主 な 製 品 名	
電力機器	変 圧 器	負荷時タップ切換変圧器, 小形・中形・大形変圧器, モールド変圧器, 自動電圧調整器, 地上設置変圧器, 特殊用途変圧器, リアクトル, 中性点接地抵抗器 等
	制 御 装 置 ・ シ ス テ ム 機 器	配電塔, 光ネットワークユニット, キュービクル, デジタル式保護制御装置, 遠方監視制御装置, 情報伝送装置, 侵入監視装置, 配電線自動化システム, 襲雷警報装置, 大型直流電源装置, PCB無害化処理装置 等
	工 事	電力設備工事 等
回 転 機	小形モータ, ハーメティックモータ, 医療機器, シャッター開閉機, アクチエータ, ソレノイド, 畜舎用送風機, 電動ポンプ, 環境機器, 排水処理装置, 粉体混合機, 駆動制御装置, パワーコンディショナ, プリント配線板, 非接触給電装置 等	

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、648 百万円であり、その主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が 90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前中間連結会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)

海外売上高は連結売上高の 10%未満であるため記載を省略しております。

【参考】

四半期財務諸表

- ①四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビューの対象ではありません。
 ②当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,546	5,778
受取手形及び売掛金	7,368	9,015
有価証券	800	800
商品	89	129
製品	1,629	1,969
原材料	1,840	1,892
仕掛品	2,089	1,661
貯蔵品	46	47
繰延税金資産	137	—
その他	130	238
貸倒引当金	△ 0	△ 0
流動資産合計	19,678	21,531
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,899	2,798
機械及び装置(純額)	1,336	1,275
土地	2,688	2,688
その他(純額)	621	889
有形固定資産合計	7,545	7,652
無形固定資産	16	17
投資その他の資産		
投資有価証券	2,886	2,992
関係会社株式	6,526	6,467
関係会社社債	100	100
関係会社出資金	720	480
繰延税金資産	976	1,052
その他	1,511	1,622
貸倒引当金	△ 74	△ 73
投資その他の資産合計	12,647	12,641
固定資産合計	20,209	20,312
資産合計	39,888	41,844

(単位:百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,808	8,140
短期借入金	250	250
1年内返済予定の長期借入金	2,344	1,274
1年内償還予定の社債	250	250
未払費用	774	838
未払法人税等	126	23
その他	408	618
流動負債合計	10,960	11,394
固定負債		
社債	125	250
長期借入金	2,270	3,502
退職給付引当金	3,836	4,065
役員退職慰労引当金	—	270
その他	310	6
固定負債合計	6,542	8,095
負債合計	17,503	19,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,053	4,053
資本剰余金	2,199	2,199
資本準備金	2,199	2,199
利益剰余金	15,301	15,187
利益準備金	812	812
その他利益剰余金	14,489	14,375
固定資産圧縮積立金	174	176
別途積立金	11,500	10,000
繰越利益剰余金	2,814	4,198
自己株式	△ 20	△ 19
株主資本合計	21,533	21,420
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	851	933
評価・換算差額等合計	851	933
純資産合計	22,384	22,354
負債純資産合計	39,888	41,844

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)	
当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
売上高	13,734
売上原価	11,842
売上総利益	1,891
販売費及び一般管理費	1,400
営業利益	491
営業外収益	
受取利息	22
受取配当金	126
固定資産賃貸料	72
その他	46
営業外収益合計	269
営業外費用	
支払利息	54
固定資産賃貸費用	19
その他	14
営業外費用合計	88
経常利益	672
特別利益	
固定資産売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
固定資産売却損	0
固定資産除却損	11
投資有価証券評価損	21
ゴルフ会員権評価損	6
たな卸資産評価損	250
特別損失合計	290
税引前四半期純利益	382
法人税、住民税及び事業税	131
法人税等調整額	△ 7
法人税等合計	124
四半期純利益	258